

会 議 名	第1回港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	平成29年7月7日（金曜日） 午後5時30分から8時00分まで
開 催 場 所	区役所9階 911会議室
委 員	（出席者）安藤委員長、新宮副委員長、須賀委員、若林委員、藤原委員
事 務 局	山越図書・文化財課長 文化財係 土井係長、桑原主事、川上主事 新郷土資料館整備担当 大江係長
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 事務局あいさつ 4 委員紹介 5 選考委員会について 6 委員長選出 7 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> （1）・港区立郷土歴史館指定管理者公募要項（案）について <ul style="list-style-type: none"> ・業務基準書(案)について ・区立郷土歴史館業務仕様書(案)について （2）・選考基準・採点表(案)について（第一次審査及び第二次審査） 8 その他 9 閉会
配 付 資 料	<p>[配布資料]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 選考委員名簿 2 港区立郷土歴史館指定管理者候補者選考委員会設置要綱 3 港区立郷土歴史館指定管理者公募要項（案） <ol style="list-style-type: none"> 3-2 様式集（案） 3-3 業務基準書(案) 3-4 歴史館業務仕様書（案） 4 第一次審査選考基準・採点表（案） <ol style="list-style-type: none"> 4-2 第二次審査選考基準・採点表（案）

会議の結果及び主要な発言

事務局	【開会】
	【委任状交付】
事務局	【図書・文化財課長あいさつ】
事務局	【委員紹介】
	【委員長選出】 互選により、A委員を委員長に選出
事務局	【審議事項】 (1)・港区立郷土歴史館指定管理者公募要項(案)について ・業務基準書(案)について ・港区立郷土歴史館業務仕様書(案)について事務局から説明
C委員	学芸部門で広報情報発信は学芸員が苦勞すると聞いている。そちらを分けて発信していくのは、有効に機能すれば意義として大きい。その一方で、連携をどうとるか、別個になる危惧がある。
事務局	連携については19ページの(5)歴史館運営の考え方に記載しており、アテンダントは教育委員会と連携・協力を記載提案してもらう。
委員長	利用する区民にとって博物館は一つ。その中に二つの組織が入るとするのは、利用者には全く関係のないこと。その業務が完全に縦割りになることは、区民サービス向上には繋がらない。当然のことながら風通しを良くする、情報交換、連携についてもっと言葉として出してよい。二つの組織が一つの館運営をする場合、どのように連携を取っていくのか、そのノウハウは、指定管理者の能力、あるいは実績を判断するうえで重要な点。この点はもう少しわかりやすく、指定管理者がどういう回答を求められているのか、わかりやすく変えてもらいたいと思います。
事務局	連携については、具体的に19ページ(5)に連携についてはっきり記載したほうが良いと捉えていいですか。
委員長	一つの館に二つの組織が運営する、これが今回の特徴になる。二つの組織が連携し1足す1が2.5になるような提案が良いわけでそこを指定管理者から引き出すような文言を足して欲しい。
事務局	加筆します。

事務局	業務基準書（案）、歴史館業務仕様書（案）について事務局から説明
D委員	公募要項に書いてある自主事業はいったい何が出来るのか。自主事業が予定どおり進まないことが起きてくるので、自主事業をやることが評価になるかどうか、どのように考えているか。
事務局	自主事業として、イベント的なところなのか、何か配布物というものなのか、どういうかたちであがってくるか、想像しているものがあるわけではない。博物館運営の経験がある事業者から提案をして欲しいところです。
委員長	自主事業として、指定管理者側が歴史館を少し面白おかしく解説するようなパンフレットやリーフレット、あるいは小冊子を作る。港区の観光案内のようなもので歴史館を中核とした観光案内を提案するとか。その売り上げが指定管理者に入るわけで、収益をあげられるところとなる。それは目的に合致し、本業務を妨げない、自主事業に位置づけられると思う。そうしたことは民間営利をあげるところを必要とする事業主体は力を入れて考えてくる可能性がある。自主事業を頑張れば収益になるということ提案していいのであれば、色々な提案が出てくると思う。
事務局	公募要項13ページにあるように、基本的には参加者個人に係る経費、実費徴収は可能としています。その他は、利益が突出しても難しいため、協調が必要。しかし、否定しているものではない。
D委員	今は、防げないという書きぶりに見えるので、積極的な自主事業を提案してください、期待しているというように、書きぶりを変更した方がよい。また、様式15は、展示に対する知識の習得とか、解説の研修と書いておくと良い。説明まで求めるならば、提案するように記載した方が望んだ答えを出してきてくれる気がする。文言を足した方がよいと思います。
C委員	一般の人は質問して、待たせている間にこんなに待たせてと行って帰ってしまう。学芸から積極的に教育とか研修できる体制がとれていると、館がまわっていくので、学芸員が一定程度は指定管理者に教えることになる。
D委員	様式16に連携に関することを書いておけば良い。
事務局	公募要項19ページ（4）（5）職員の研修、歴史館運営を具体的にということだと思います。展示に関して知識をどうするか、連携をどうするかについて、加筆対応をする。
C委員	仕様書6ページ、具体的なグッズ販売の業務、学習体験の補強を具体的にはどういうイメージをさせていくつもりか。
事務局	例えば港区の浮世絵をスマホケースにプリントしたり、クリアファイルにプリントし

	たりとか、そのようなどころを考えている。そこに関して民間事業者に提案して欲しいと期待している。
委員長	では審議事項の（１）につきましてはいくつか提案しましたがそれを固めてもらうことをお願いします。
事務局	採点表について事務局から説明
D委員	指定管理者の抱負を是非聞きたいと思う。事業の趣旨をどれだけ理解しているか自分の意見、表現ぶりをみたい。再委託を予定している業務とあるが、再委託をしている事業者を特に劣るとするのは自分たちでやっていないから劣るのか、再委託しているから良い連携とみるのか、どう判断したらいいのか教えてもらいたい。
委員長	様式がありますので、その様式に従って採点していくことと思う。指定管理者の選定において再委託の割合があまりにも大きい場合は選考から外すなど、そのあたりの一定の基準を示すべき。
事務局	要項９ページ（３）再委託の禁止が書いてある。主たる業務、博物館事業の全てを再委託というのは、禁止としております。
委員長	集客力のあるカフェやレストランが入るとその分活性化することもある。飲食店は専門性が高いと考えるべきであって、ここに入る指定管理者が飲食業務に精通しているというのは考えにくい。そのあたりは少し柔軟に対応してもらう必要がある。提案が優れていると考えられれば、再委託できるようにすることは大事。
C委員	様式１７の昔の学校給食ですが、ここまで限定すべきか。
副委員長	議会の中で昔の学校給食があったらいいという意見があり、取り入れていく旨答えている。あえてここに入れるかどうかというのはありますが、こちらの趣旨としては是非やっていただきたいところなので、採点項目に入っている。
委員長	カフェは２０点だから変更可能な点数かと思う。気になるのは、自主事業が５点でいいのかどうか。自主事業こそ民間のノウハウを一番発揮できるところではないかと思う。そこで博物館の趣旨、そして公益事業を外れない範囲でどれだけの提案が出てくるかというところは、評価のポイントにしたいと思っている。指定管理者の柔軟な考え方で提案してもらう方が、色々と面白い提案が出てくるのではないかと思うので、もう少し点数が高くていいのかと思う。
C委員	学芸員が苦勞しているところを自主事業で提案してもらう。まさに指定管理者の技量が問われるところ。その能力が発揮されると館運営が回ってくることになり、観覧者の数にもかかわってくると思う。
委員長	各項目の配点で苦勞していると思うので、自主事業を４０点にしろとは言わないが、

10点くらいに引き上げてもいいのではと思う。

事務局 例えばカフェを5点引いて15点、自主事業10点でいいですか。

委員長 学校給食5点入っているのは加えすぎと思われるので良いのではないか。

事務局 カフェ事業の15点、自主事業の10点。この場で了解をいただければ。

(全員了承)

D委員 運営の健全性についての部分で、財務諸表や資金計画書等は見ない場合もあるのですが、今回はどうか。

事務局 運営の健全性という部分は公認会計士の判定の部分は点数化しませんが、資金計画書などは、公認会計士に今後の運営の安定性などもランクを付けてもらい、その報告書を確認に見てもらう。資金収支計画等の点数を入れるかどうかということについて、議論していただければと思う。点数としてみた方がいいというなら配点を考慮します。

委員長 実際の提案を受けて、この事業を滞りなく達成できる財務状況を専門的な観点から評価をしていただく必要がある。正直私はこの事業規模でこれができるかどうかについて、例を引っ張ってくることは出来るが、評価ということは難しい。他の先生ができるのであれば加えていいと思う。ABCでは規模が大きなところを優遇することになるのでは。

事務局 財務状況分析、資金収支分析というところですが、委員長の言っていた、各委員が個人評価するのは難しいということであれば、点数に組み込む方法としては、公認会計士の評価のAは5でBは4などと、事務局で機械的にふることでどうでしょうか。

委員長 よろしいですか。

(全員了承)

委員長 他にご意見等はございますか。

副委員長 災害発生時の対応で災害広域避難場所としての基本的な考え方については何を想定しているのか。

事務局 東大医科研と聖心女子を含めて、災害時の広域避難場所に指定されているため災害があった時にどう考えているかを聞く項目です。広域避難場所に避難をしてきた方に対して、どういった対応を考えているか提案してほしい。

委員長 港区は帰宅困難者が多いので、しっかりとした提案が必要で、候補者を考える上で重

	要だと考えます。
C委員	しかし、ここは15点配点にしますか。他と同じ10点でもいいかと思いますがどうでしょうか。
事務局	事務局の案ですが、先ほどの財務状況資金計画を点数化して、ここを10点に下げ、財務計画資金計画に5点を配点してよろしいでしょうか。
委員長	<p>それでは、カフェ20点から15点に、自主事業5点から10点に、災害発生時の対応15点から10点に、財務状況・資金計画を5点と点数化する。この修正でよろしいでしょうか。</p> <p>(全員了承)</p>
委員長	それでは委員会を終了します。